

# CLIL実践による生徒の変化

神奈川県立鶴見総合高校 高木由香里

# 目次

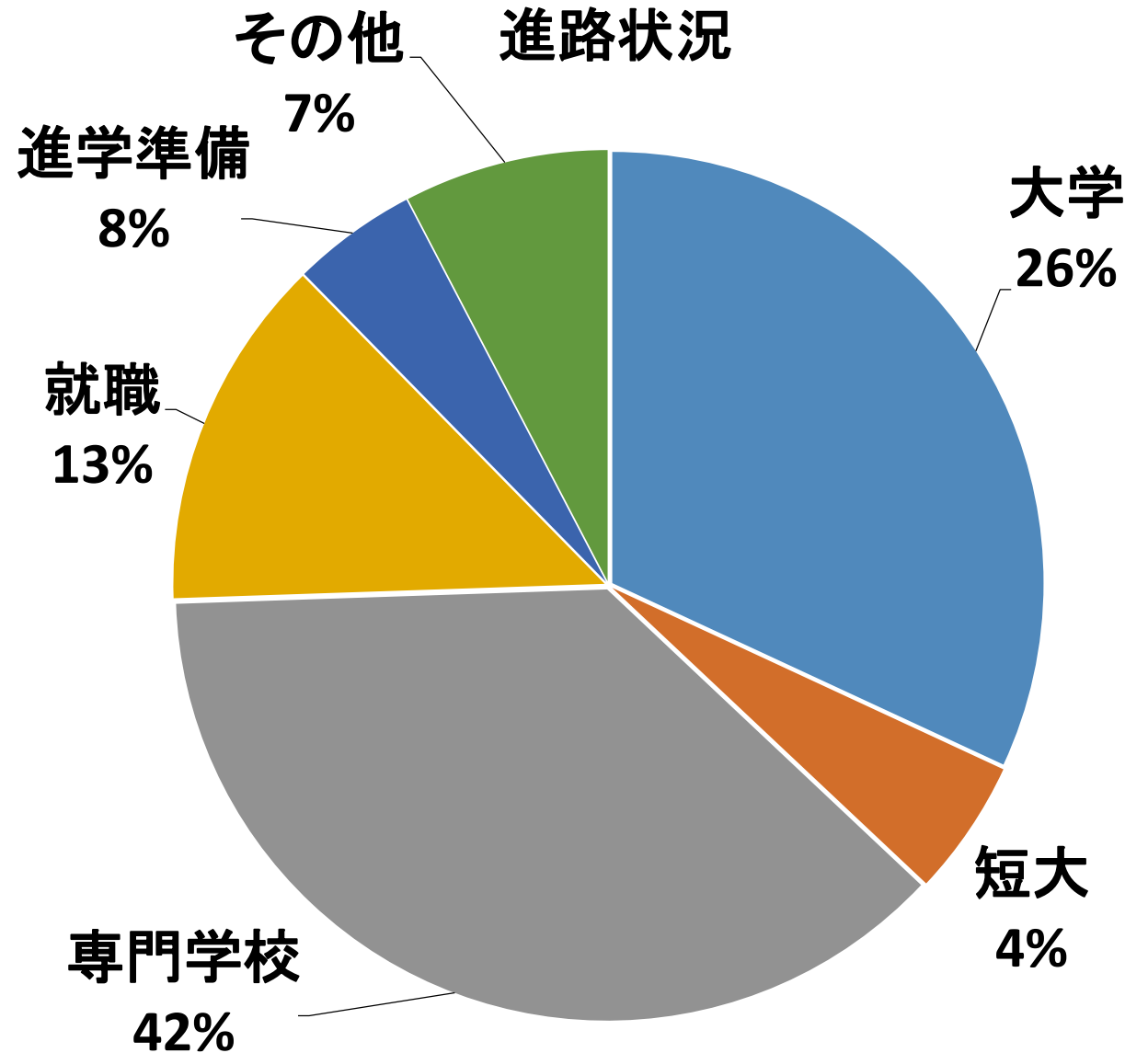
1. 自己紹介
2. 本校の紹介
3. CLIL実践のきっかけ
4. 本校生徒の傾向
5. 本校でのCLIL
6. 單元ごとのデザイン例
7. Lesson 5指導計画
8. 授業例
9. 生徒の反応
10. 生徒の変化
11. 考察
12. 今後の取り組み

# 1. 自己紹介

- 高木 由香里 神奈川県立鶴見総合高校教諭
- 本校 3 年目
- 高校 2 年生担任
- ダンス部、美術部顧問
- TESOL
- Autonomous learning
- CLIL

## 2. 本校の紹介

- 単位制総合学科
- 男子約270名  
女子約480名  
合計約750名在籍
- 外国籍の生徒が約100名在籍  
フィリピン、ネパール、  
イギリス、アメリカ、  
中国、韓国等



### 3. CLIL実践のきっかけ

- 生徒の自由な発想力を授業に活かしたい。
- 生徒に学ぶ楽しさを知って欲しい。
- 生徒の将来に役立つ授業がしたい。

「学んだ生徒が幸せになる授業」

## 4. 本校生徒の傾向（4月アンケート結果から）

- 英語は苦手だけど話せるようになりたい。
- 英語を話せることは必要だと思う。
- 英語を話すことは将来に役立つと思う。
- 英語を使う仕事に就きたい。
- 外国に行ってみたい。

## 5. 本校でのCLIL

- コミュニケーション英語Ⅱ(週4時間)
- 検定教科書VISTA English CommunicationⅡを使用
- 単元の終わりに実施→ほぼ毎回実施。
- 単元ごとにCLILの授業をデザインする。
- アンケート調査で生徒の動向を確認する。

## 6. 単元ごとのデザイン例

課	レッスン名	ねらい	主なCLIL活動
Lesson 2	The Emerald Isle	<ul style="list-style-type: none"><li>・美しい緑が輝きあふれるアイルランドの言語や文化を知る。</li><li>・原級・比較級・最上級</li></ul>	Let's make One day trip
Lesson 3	The Sagrada Familia	<ul style="list-style-type: none"><li>・設計に込められたガウディの思いや完成に向けての最先端の取り組みについて知る。</li><li>・分詞</li></ul>	Good design award
Lesson 5	Flowers in the Tomb	<ul style="list-style-type: none"><li>・ツタンカーメンの墓を発見したハワード・カーターについて学習し、歴史を辿ることのおもしろさや喜びを読み取る。</li><li>・使役動詞・関係代名詞のwhat</li></ul>	Our Tutankhamen Exhibition



## 7. Lesson 5 指導計画 (全9時間)

時	テーマ	主な学習活動
1	Section 1 背景知識の活性化	プリント①を用いてエジプトへの興味を喚起する。
2	Section 1 本文読解	前時の学習内容を元に本文読解を進める。
3	Section 2 背景知識の活性化 使役動詞の説明	プリント②を用いてツタンカーメンについて考察する。使役動詞について学習する。
4	Section 2 本文読解、 使役動詞の演習	前時の学習内容を元に本文読解を進める。使役動詞の演習をする。

## 7. Lesson 5 指導計画 (全9時間)

時	テーマ	主な学習活動
5	Section 3 背景知識の活性化 関係詞whatの説明	プリント③を用いてツタンカーメンの墓の中 にあった物について考察する。関係詞whatに ついて学習する。
6	Section 3 本文読解、 関係詞whatの演習	前時の学習内容を元に本文読解を進める。関 係詞whatの演習をする。
7	ツタンカーメン展を作ろう 1	プリント④を用いて今までの学習の中で最も 印象に残ったことについてまとめる。
8	ツタンカーメン展を作ろう 2	「私たちのツタンカーメン展」をグループ ワークで作成する。
9	ツタンカーメン展を作ろう 3	「私たちのツタンカーメン展」を発表し、評 価しあう。

## 8. 授業例 What were there in the tomb?

- ツタンカーメンの墓にあった物について考える。(個人→ペア→全体)
- もしも自分のお墓を作るとしたら、何を入れるか考える  
(個人→ペア→全体)
- P.45を読んでツタンカーメンの棺の上に置いてあった物は何かを読み取る。  
(個人→全体)
- 誰が花を置いたのか、また何のために置いたのかを考える。  
(個人→全体)
- ハワード・カーターが「墓の中で花が最も美しかった」と言ったのはなぜか考える。  
(個人→ペア→全体)
- 教科書の読解をする。

## 9. 生徒の反応

- ツタンカーメンを英語で知るのが楽しかった。
- ツタンカーメンなど、エジプトの歴史が沢山学べて楽しかった。
- 英語を通じて色々知ることができた。
- みんなで案を出しながら発表するのが楽しかった。
- 発表が自分の力を伸ばせると思った。

# 10. 生徒の変化①

コミュ英Ⅱ受講者70名対象

4…とても思う  
3…思う  
2…あまり思わない  
1…思わない

	質問項目	4月	9月	+ -
1	英語が得意だ。	1.97	2.13	+0.16
2	英語で自分の意見を言える。	1.73	2.02	+0.29
3	英語で話された内容を理解できる。	2.27	2.52	+0.25
4	英語で書かれた文を理解できる。	2.48	2.63	+0.15
5	英語で自分の意見が書ける。	1.70	2.02	+0.32

# 10. 生徒の変化②

コミュ英II受講者70名対象

4…とても思う  
3…思う  
2…あまり思わない  
1…思わない

	質問項目	4月	9月	+ -
6	英語の授業が楽しい。	2.69	2.89	+0.2
7	英語を話せるようになりたい。	3.28	3.30	+0.02
8	英語で進められる授業を理解できる。	2.37	2.57	+0.2
9	グループで話し合うのが好きだ。	2.30	2.11	-0.19
10	英語をもっと勉強したい。	2.85	2.79	-0.06

# 11. 考察

- 生徒が英語で何かを学ぶ楽しさを実感している。
- 生徒の成長が見られた。
- 生徒の内面を知ることができた。
- 他教科との連携も有用。
- グループワークの活性化が必要。

## 12. 今度の取り組み

- 引き続きデータを取り、効果を検証していく。
- 他の実践例を研究し、本校で活用する。
- 校内の教員間でCLILを共有する。
- 他教科との連携を図る。



ご清聴ありがとうございました！  
takagi-p4w@pen-kanagawa.ed.jp